

事務事業評価&総合計画実施計画調査シート

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	8 伊賀市庁舎建設事業	会計	01	一般会計
基本	60 市内各地域の特性を活かした分権型のまちをつくる	款	02	総務費
策		項	01	総務管理費
		目	01	一般管理費
		細目	102	庁舎管理経費
		細々目	03	庁舎建設事業
基本計画該当頁		199		行革大綱の重点事項番号
				4
担当部課	コード	010100		評価者
	名称	総務部総務課		氏名
				藤岡 淳次
		連絡先	22 - 9610	
			(内線) 2310	

事業の計画・内容

対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
伊賀市役所新庁舎 (※対象件数)	本庁の事務機能の効率化、防災機能の確保、市民ニーズに対応した利用しやすい公共施設の利用が可能になる。
根拠法令・要綱等	伊賀市庁舎建設検討委員会設置要綱
開始年度	平成 18 年度
終了年度	平成 25 年度
事業内容	<p>予定していた庁舎建設検討委員会は、半年遅れでスタート。議会の特別委員会と意見交換をしながら5回の委員会を開催し、新庁舎の位置について一定の方向性を見出した。</p> <p>平成21年度に、庁舎建設に係る基本構想・基本計画について、パブリックコメントを求めながら策定を進め、検討結果を市長に答申する。</p>
状況変化等	

整備内容

1 建設用地	千円
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	

運営体制

1 運営主体	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等
委託先	人 千円
2 配置(予定)人員	
3 年間運営費	
4 市内の類似施設	

年度	進捗状況	平成19年度 決算内容			平成20年度 決算内容			平成21年度 計画内容			平成22年度 計画内容			平成23年度 計画内容			平成24年度 計画内容														
		事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額												
委託	↔	庁舎建設計画調査研究専門委員			庁舎建設検討委員会			基本構想・計画策定			実施設計			実施設計			建設工事関係														
工事	↔	専門委員報酬	3	人	250	委員報酬	58	人	348	委託料	1	式	5,000	建設工事関係	1	式	1,047,336														
		費用弁償	3	人	12	旅費	12	人	43	検討委員会																					
						使用料及び賃借料			4	委員報酬	52	人	312																		
									8	旅費			32																		
										需用費			9																		
進捗率(%)		事業費計(A)			Σ	262	事業費計(A)			Σ	395	事業費計(A)			Σ	5,353	事業費計(A)			Σ	94,000	事業費計(A)			Σ	1,071,336	事業費計(A)			Σ	2,194,821
事業投入人員		人件費(B)	0.5	人	3,600	人件費(B)	0.5	人	3,600	人件費(B)	1.0	人	7,200	人件費(B)	1.0	人	7,200	人件費(B)	2.0	人	14,400	人件費(B)	2.0	人	14,400						
フルコスト(A)+(B)		3,862			3,995			12,553			101,200			1,085,736			2,209,221														

事業費(人件費除く)の財源内訳

(A) 事業費	262	395	5,353	94,000	1,071,336	2,194,821
Aの財源内訳						
国庫支出金						
県支出金						
地方債				89,300	806,000	1,955,100
受益者負担						
その他				200,000	200,000	
一般財源	262	395	5,353	4,700	65,336	39,721
計	262	395	5,353	94,000	1,071,336	2,194,821
備考	その他特定財源の名称・補助基本額・率			合併特例債		合併特例債
	地方債の区分と充当率等			伊賀市振興基金		伊賀市振興基金

事業種別	継続	単独	事業類型	I	ソフト事業	2次評価対象分
------	----	----	------	---	-------	---------

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H19	H20	H21	H22
庁舎建設検討委員会の開催	回	目標 実績	目標 実績	4 5	4
庁舎建設基本構想・基本計画の策定	%	目標 実績	目標 実績	100	
新庁舎建設基本設計・実施設計	%	目標 実績	目標 実績		80

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H19	H20	H21	H22
事業進捗率	進捗率は、概算を10%、基本構想10%、設計関係(基本・実施)30%、建設50%とする	%	目標 実績	目標 実績	20 15	20 50
			目標 実績	目標 実績		

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	市民が頻繁に利用する本庁舎として、バリアフリーへの対応、相談、会議等のスペースの確保及び災害時の防災拠点としての機能を果たす必要がある。
有効性	4	①新庁舎建設により、空調等の施設管理経費を抑制することができる。②防災拠点として、市民が安心して利用できる公用施設となる。③会議室や相談スペース等を確保することによって、市民の利便性が向上する。④ゆとりのある職務スペースの確保により、職員がストレス無く職務に専念することができる。(サービス向上に繋がる。)
達成度	3	庁舎建設検討委員会での検討では、新庁舎の場所について一定の方向性を見出した。
効率性	4	庁舎の維持管理経費を削減し、財政的な負担を軽減することができる。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
A	継続	早期に基本構想・基本計画の策定業務に着手し、事業を進めていく。